

2018年10月18日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

ゼクシィ 結婚トレンド調査2018

- ✓ 挙式、披露宴・披露パーティスタイルは【王道しっかり派】と【等身大ゆったり派】の2派に【王道しっかり派】は多様な演出でゲストを楽しませることを重視し、【等身大ゆったり派】はゲストとの関係を重視し、近いゲストに厳選した演出で気持ちを伝える傾向
- ✓ 挙式、披露宴・披露パーティ総額は357.5万円で、引き続き高い水準で推移

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ(本社:東京都品川区 代表取締役社長 山口文洋)が企画運営する結婚情報誌『ゼクシィ』では、新婚カップルの結婚スタイルについて詳細に把握するために、毎年「結婚トレンド調査」を実施しています。1994年に首都圏で開始した調査は、年々調査地域を拡大し、現在では北海道、青森・秋田・岩手、宮城・山形、福島、茨城・栃木・群馬、首都圏、新潟、長野・山梨、富山・石川・福井、静岡、東海、関西、岡山・広島・山口・鳥取・島根、四国、九州の15地域による全国規模の調査を実施しています。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

<【王道しっかり派】と【等身大ゆったり派】の挙式、披露宴・披露パーティの特徴>・・・P3～6

【等身大ゆったり派】の挙式、披露宴・披露パーティスタイルが年々増加傾向。【王道しっかり派】と【等身大ゆったり派】が約5割程度で拮抗

- 挙式、披露宴・披露パーティの演出を決める際に心がけたことにおいて、「列席者を退屈させないこと」「盛大な見栄えがすること」「感動的な挙式、披露宴・披露パーティにすること」のいずれかを選択した【王道しっかり派】は53.8%。一方、いずれも選択しなかった【等身大ゆったり派】は46.2%で、年々増加し、2012年調査から12.3ポイント増加。

【等身大ゆったり派】は、ゲストとの関係を重視し、親しい関係のゲストを招待する傾向

- 披露宴・披露パーティの招待客の組み合わせにおいて、【等身大ゆったり派】は【王道しっかり派】に比べ、「親族のみ」(11.7%)、「親族+学生時代の恩師・友人」(11.2%)が高い。
- 【等身大ゆったり派】は近い人と呼ぶ傾向にあり、招待客人数は【王道しっかり派】より12.2人少ない。

【王道しっかり派】は、挙式、披露宴・披露パーティでの多様な演出でゲストを楽しませ、【等身大ゆったり派】は厳選した演出で気持ちを伝える

- 挙式に関して実施した演出個数において、【王道しっかり派】が9個以上実施している割合は10.9%で、平均個数は5.1個。一方、【等身大ゆったり派】が9個以上実施している割合は5.1%で、平均個数は4.2個。
- 演出内容は、【王道しっかり派】が【等身大ゆったり派】より「ブーケス、ブーケブルズ」(11.6ポイント差)、「挙式のテーマやコンセプトを決める」(11.3ポイント差)、「挙式時の音楽・BGMを自分たちで選ぶ」(8.7ポイント差)などで上回っている。
- 披露宴・披露パーティに関して実施した演出個数において、【王道しっかり派】が15個以上実施している割合は52.1%で、平均個数は14.8個。一方、【等身大ゆったり派】が15個以上実施している割合は33.7%で、平均個数は12.2個。
- 演出内容は、【王道しっかり派】が【等身大ゆったり派】より「入退場の際、親・親族・知人にエスコートしてもらう」(15.1ポイント差)、「ジャンルを問わず好きなBGMを選ぶ」(14.7ポイント差)、「披露宴・披露パーティのテーマやコンセプトを決める」(14.2ポイント差)などで上回っている。

<挙式、披露宴・披露パーティに関する費用>・・・P7～10

挙式、披露宴・披露パーティ総額は357.5万円で、2012年調査に比べて増加

- 挙式、披露宴・披露パーティ総額は357.5万円。2012年調査から13.7万円増加した。
- 披露宴・披露パーティの招待客人数は69.4人で、年々減少傾向。
- ご祝儀総額は232.8万円で、挙式、披露宴・披露パーティにおけるカップルの自己負担額は142.8万円。
- 挙式、披露宴・披露パーティの費用として、親・親族から援助があった人は70.7%。援助総額は174.5万円で、2014年調査から16.8万円増加した。

◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、「ゼクシィ 結婚トレンド調査2018 調べ」と明記いただけますようお願い申し上げます。

◆ 「結婚トレンド調査2018」の詳細は、弊社『ブライダル総研』サイト(<http://bridal-souken.net>)より、ダウンロードいただけます。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

「結婚トレンド調査2018」の結果から見る挙式、披露宴・披露パーティのトレンド

挙式、披露宴・披露パーティに対する考え方が多様化。

【王道しっかり派】と【等身大ゆったり派】の2大スタイルが主流

昨年から引き続き、「感動させる」「退屈させない」など、ゲストの感情を演出で導くよりも、ありのまま、その場雰囲気ゲストと一緒に楽しみたいという意識が強まっています。しかしながら、だからと言ってそうした結婚式が現状の大半を占めるわけではなく、これまで通り、「感動させる」「退屈させない」ことも重視したスタイルは根強く、平成の終わりと共に2大スタイルが確立してたと捉えています。

【王道しっかり派】は特に「ゲスト評価」を重視する特徴があります。「ゲストを退屈させないようにしたい」「この演出をやるのが一般的」「招待客は〇〇まで呼ぶのか一般的」など、一般的な結婚式のスタイルをベースに、ゲストがどう感じるかに照準をあてて、実施内容を決定する傾向にあります。【等身大ゆったり派】の判断軸はまさに「等身大」であり、自分や自分の周りのコミュニティにとって、「実施する価値がある」「ふたりらしい」と思えるコトやものを取り入れる傾向にあると考えています。

また、【王道しっかり派】は、現状、20代でのシェアが高く、【等身大ゆったり派】は30代でのシェアが高いことも特徴として挙げられます。20代は結婚式に対するあこがれが比較的高く、また参列経験も少ないことから、一般的な結婚式と比較を重ねながら、自身の結婚式スタイルを決めていく傾向がありますが、参列経験も多く、20代よりも自身のコミュニティや価値観も確立している30代は、他者や一般論との比較ではなく、自身の価値観を軸に結婚式のスタイルを決めていく人が多いと捉えることができます。

なお、費用面においては、招待客1人あたりにかける料理・飲み物費用は、【王道しっかり派】【等身大ゆったり派】の間で大きな差は無く、結婚式に対する考え方や内容が異なっていたとしても、ゲストに対するおもてなしの気持ちは共通していると言えます。

【王道しっかり派】 【等身大ゆったり派】の特徴

王道しっかり派

等身大ゆったり派

一般的なゲスト評価

重視ポイント

築いてきた各々の価値観

20代でシェア高い

新婦年代

30代でシェア高い

18.8千円

招待客1人あたり
料理+飲み物費用

18.5千円

※全国推計値

ゼクシィ 首都圏

編集長 平山 彩子 (ひらやまあやこ)

<プロフィール>

2008年にゼクシィ編集部へ入社。ゼクシィの編集記事制作に加え、PR・CMプロモーション、表紙や交通広告の業務を担当。2015年10月西日本エリア版編集長に、2016年より現職。現在に至る。

<取材にお答えできます>

- ・結婚式の歴史や最近の結婚式(挙式・披露宴の演出、ドレス、料理、引き出物などを含む)のトレンド。
- ・結婚するカップルや若者世代・親世代の結婚意識、恋愛観、家族観など



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指しています。